



あったかハート推進週間の取組（6月）

今年度、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

6月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
6月	6/5（月）～9（金）	道徳科の授業① 内容項目：親切, 思いやり

1 実際の授業

【2年生】

2年生は教科書の「公園のおにごっこ」を読んで、親切にするときに、どのようなことが大切になるかについて話し合いました。

授業では、「相手を思いやっても、相手の気持ちが理解できないときがある」「それでも思いやりの気持ちをもつことは大切だ」と、相手を思いやることの難しさと大切さについて考えました。

授業の終わりには、思いやりの難しさと大切さを理解した子供が、「相手の気持ちを考えながら親切にしよう」と自己の生き方についての考えを深めていました。

2 授業の感想

- ・まず、親切にしてもらったら、今度は私が親切にしようと思いました。次に、誰に対しても親切にしようと思いました。最後に、絶対にしようと思ったことは、自分よりも下の学年の子から「まぜて」と遊びの誘いを受けたときには必ず話を聞いて、「いいよ」と言ってあげることです。
- ・親切にするためには、相手がしてほしいことを聞けばいいと思います。なぜかという、何も聞かずに親切にしたら、自分では親切だと思っても、相手にとっては親切ではないかもしれないからです。
- ・親切にするときには、相手の気持ちを考えることが大切だと思います。また、その人に何をしてほしいかを聞いてあげたらよいと思いました。
- ・親切にするときに大切にしたらよいと思うことは、相手の気持ちになって、相手のことをしっかり考えて行動することです。

6月9日（金）に行われた教育研究発表会では、2年生と5年生の授業を公開し、親切について真剣に話し合う様子を参観していただきました。

また、他の学年でも、話合いを通して、親切にすることや温かい心で接することのよさを感じる様子が見られました。